

-----  
◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇  
～メールマガジン第83号(令和3年12月24日発行)～  
-----

\*\*\*\*\*

◇◇◇◇◇◇◇◇◆ I N D E X ◆◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

【1】トピックス

- 雪による被害から身を守るために
- 令和3年度札幌市防災教育セミナーの開催について
- 北海道防災総合訓練（厳冬期）を実施しました

\*\*\*\*\*

【1】トピックス

- 雪による被害から身を守るために

毎年、暴風雪による交通事故や除雪中の事故で、死傷者が出ています。

暴風雪から身を守るためには、天候が荒れている場合や特に「大雪や暴風雪の警報」が発表されている時は、不要不急の外出を控えることが大切です。買い物などの外出は、天候が荒れる前に済ませましょう。

どうしても外出する際には、事前に最新の気象情報や道路情報を確認しましょう。車で

の外出の際は、吹雪や吹きだまりによる立ち往生の備え、防寒着やスコップ、牽引ロープ等を用意することや、燃料を充分に残しておくことも重要です。

万が一、暴風雪に遭遇したら、公共施設のほか、道の駅やコンビニなどで天気の回復を待ちましょう。車内では、排気ガスによる一酸化炭素中毒と低体温症に充分注意してください。

ただ、車が立ち往生し、近くに避難する場所がない場合には、警察や消防に連絡し、車内で救助を待ちましょう。

車内で救助を待つ場合、エンジンを停止させ、できるだけ防寒着や毛布などで体温の低下を防ぎましょう。それでも寒くてエンジンをかけるときは、排気管が雪で塞がらないように、こまめに除雪し、車内に一酸化炭素が入らないようにしてください。

また、除雪中の事故では、落雪や、屋根・はしごからの転落により死亡事故につながるケースが多くなっています。

除雪中の事故を防ぐ対策としては、「除雪は1人ではなく複数人で行うこと」「命綱やヘルメットをつけること」「はしごをしっかりと固定すること」「万一の際に、助けを呼ぶための携帯電話やホイッスルを身につけること」が重要です。除雪機に巻き込まれる

事故も発生しているのです、除雪機の調子が悪い時は、必ず電源を切ってから様子を見ましょう。

■ 令和3年度札幌市防災教育セミナーの開催について

札幌市では、市民へ防災教育を推進することを目的に、下記のとおり「令和3年度札幌市防災教育セミナー」を開催することにいたしました。

当セミナーでは、東日本大震災の被災地となった釜石市にて防災教育に携わり、現在は文部科学省にて防災教育の普及啓発にご尽力されております 森本 晋也 氏をお招きした講演を予定しております。

大変貴重な機会ですので、皆様にも御出席いただきたく、御案内いたします。

1 日時 令和4年1月7日（金）13：30～15：30

2 場所 札幌コンベンションセンター2階 小ホール

（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）

3 内容 札幌市HPの掲載ページをご参照ください。

<https://www.city.sapporo.jp/kikikanri/kyoikusemina.html>

4 お申込み

ご参加を希望される方全員の

- ・団体名
- ・参加者氏名
- ・連絡先（TEL）
- ・防災教育についての質問等（自由項目）

をご記載の上、令和4年1月4日（火）までに札幌市危機管理対策室あてに電子メ

ー

ルにて御連絡ください。

5 その他

お申込後は、直接会場へお越しください。

申込多数によりご参加いただけない場合、又は感染症拡大によるセミナーの中止等がありましたら、直接ご連絡させていただきます。

◆お問合せ・申込先

札幌市危機管理対策室危機管理対策部

危機管理対策課 齋藤・酒巻

TEL:011-211-3062 / FAX : 011-218-5115

E-mail : kiki\_c\_bosai#city.sapporo.jp

■ 北海道防災総合訓練（厳冬期）を実施しました

令和3年12月18日(土)午後1時から19日(日)午前9時にかけて、北斗市総合体育館にて、北海道防災総合訓練（厳冬期）を実施しました。

この訓練は、停電・断水が発生した避難所を想定し、厳冬期における災害対応力の強化を目的としており、当日は、道や北斗市のほか関係機関の職員、さらに地元の自主防災組織の関係者など約200人が参加しました。

初日は避難所開設の手順を確認するため、テントや段ボールベッドの設営を行いました。感染症対策を想定し、避難所内のゾーニングや受付時の検温も併せて実施しました。

その後は防災講話を聞き、災害時のリスクや対応方法を学ぶとともに、避難所運営演習（Doはぐ）、避難所で簡単に体を温められる足湯の体験、キッチンバスを活用した炊き出し訓練などを実施しました。また関係機関・企業が防災に係る展示ブースを設置し、参加者に説明を行いました。

その後、段ボールベッドや寝袋を使い、避難所で一夜を過ごしました。

2日目は起床後、エコノミークラス症候群予防のための体操を行い、炊き出しによる朝ご飯を食べたのち、訓練全体の振り返りを行いました。

また訓練の様子を函館のコミュニティ放送局の「FMいるか」がYouTubeによるライブ配信を行うなど、様々な取組が行われました。

「ほっかいどうの防災教育」Facebookや「北海道防災情報」のTwitterにも訓練の様子を掲載しておりますので、ご覧の上、参考としてください。